

塗料製造業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者 規模
2017	1	11~12	工場内で荷物運搬中、ハンドリフトの先端に足をひっかけ肩から倒れ、左肩を骨折する。	78	362	2	10 ~ 29
2017	2	16~17	事務所においてトイレに行こうと席を立ち2、3歩歩いたところで足がもつれ転倒し右足甲を骨折した。	55	921	2	10 ~ 29
2017	3	14~15	リーチ式フォークリフトにて空パレットを工場内に運ぼうとし、通路をバックで走行中、運転を誤り置いてあった空コンテナに接触しそうになり、とっさに身を翻したときにフォークリフトとコンテナの間に左手が挟まれ小指を骨折し、無理に引き抜いたことで裂傷ができた。	34	222	7	—
2017	3	16~17	充填用プラットホーム上で、溶剤の移し替え作業を行っていた際、溶剤容器の一方はドラム缶であり、静電気対策でプラットホームの縁からドラムの中ほどにあるアース端子にアース線で接続されていた。作業中に移動するとき、このアース線に足を引っ掛け転倒し、膝を床（鉄製チェッカープレート）に打ちつけた。	73	417	2	30 ~ 49
2017	3	15~16	勤務先倉庫で月末の棚卸しをしている時に、上にある粉体を数えようと棚に登ろうとしたところ、足を踏み外し、足首を捻った状態になり、そのまま落下して負傷した。	40	391	1	10 ~ 29

2017	6	10～ 11	充填作業を2名で行っていたが、一方の作業者がパレットに石油缶を積み付け、その後PPバンドにて結束を行っていた。PPバンドの結束は、石油缶の1段目をしゃがんだ姿勢で力を入れるため、足を伸ばして踏ん張った状態で行っていて、後ろを通行した際に伸ばしていた足に躓き転倒した。その際に、近くにあったプラスチック製のコンテナボックスに頭部をぶつけた。	58	921	2	100 ～ 299
2017	6	8～9	ステンレスドラムに樹脂、溶剤をディスパーで攪拌しながら、ビニール袋に入った端数顔料を仕込む際、袋がディスパーシャフトに巻き込まれ、袋を持っていた左腕も同時に巻き込まれた。	22	162	7	50 ～ 99
2017	7	9～ 10	構内、第5製造所裏側危険物屋外貯蔵所で、フォークリフトでドラム原料のパレットにフォークを差し込み抜いたところ、10匹程度の蜂が出てきて襲われたため、フォークリフトから降りて逃げる際、後ろ向きに転倒し、右手首を骨折した。	40	999	2	100 ～ 299
2017	9	14～ 15	リップ包装室にて、機械の見廻り中に、包装機のターンテーブルの下に落ちていた半製品を拾おうとして、稼動中の機械の中に右腕を入れて機械に腕を挟んでしまった。	24	169	7	100 ～ 299
2017	11	17～ 18	工場棟1階ラベル貼り作業場で、6Lペール缶充填の準備作業として、ペール缶にラベルを貼り付ける作業を行っていた。作業員Aがカゴ付きパレットに積んである無地ペール缶を作業台に運んで来た時、別のペール缶（高さ約1.3m、14缶）に当たり、斜め前方に倒れ、ラベル貼りをしていた被災者の左足に当たり負傷した。	56	379	5	50 ～ 99
2017	11	17～ 18	局内作業中、作業場から別の作業場に戻って移動した際、荷物区分時に使用するフリーローラーの連結部分に腰骨部分を強打した。（フリーローラーは所定の場所に保管しており通路側の妨害はしていなかった。）強打後痛みはあったが本人の判断で勤務した。帰宅後、湿布を貼った。翌日午後まで勤務したが痛みが治まらないので、上司に事情を報告して早退し病院へ受診した。	29	321	11	100 ～ 299

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_06.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html)